

R

RITSUMEIKAN
UJI
JUNIOR AND SENIOR
HIGH SCHOOL

GUIDE BOOK 2025

RITSUMEIKAN UJI

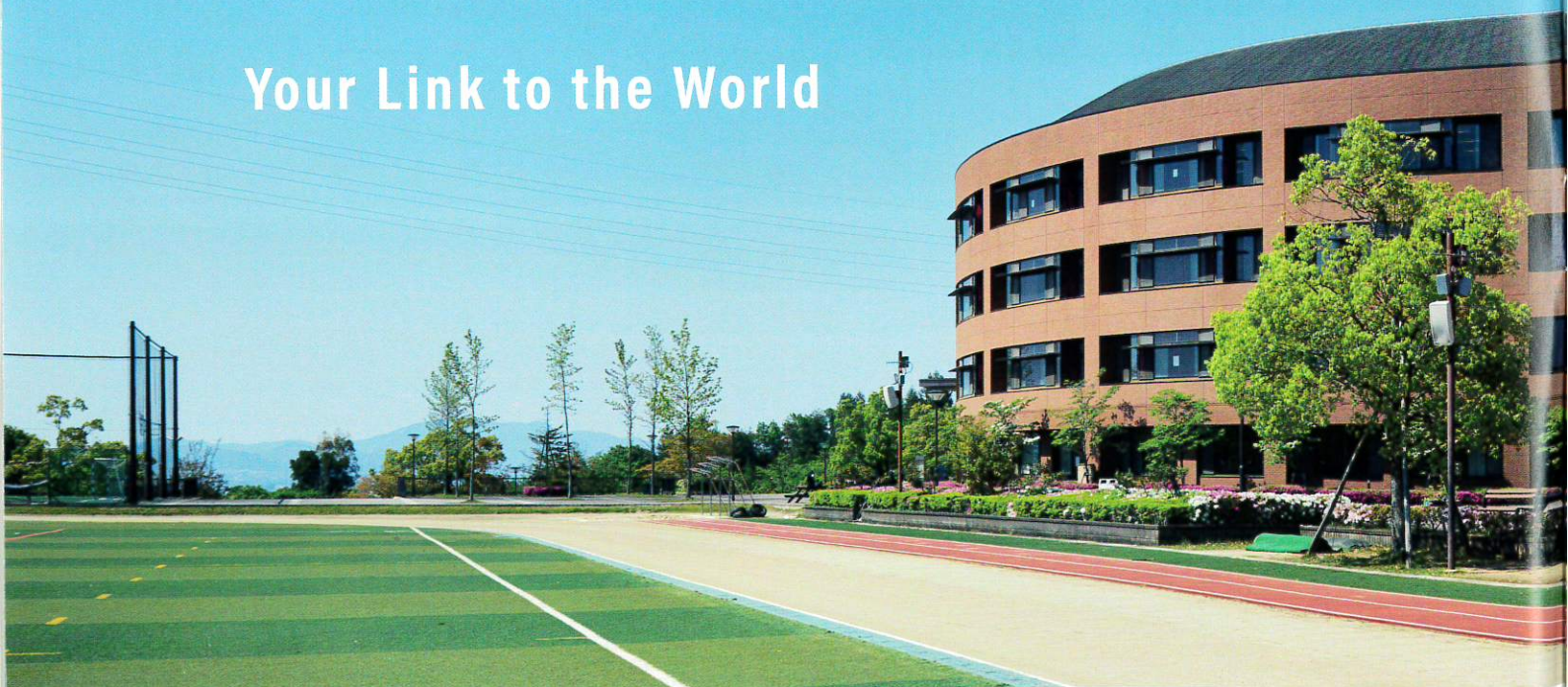
JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

立 命 館 宇 治



学んだぶんだけ、
世界が近くなる。

Your Link to the World





教育目標 Mission Statement

立命館宇治中学校・高等学校は、立命館の建学の精神「自由と清新」と教学理念「平和と民主主義」に基づき、卓越した言語能力に基づく知性と探究心、バランスのとれた豊かな個性、正義と倫理に貫かれた寛容の精神を身につけた未来のグローバルリーダーを育成し、世界と日本の平和的发展に貢献する。

スクールコンセプト School Concept

先駆者を楽しめ!!

～ワクワクであふれる学校へ～

理想とする人間像 The Learner Profile

究

探究する人
Inquirers

知

知識のある人
Knowledgeable

考

考える人
Thinkers

話

コミュニケーションができる人
Communicators

義

信念を持つ人
Principled

寛

心を開く人
Open-minded

仁

思いやりのある人
Caring

挑

挑戦する人
Risk-takers

健

バランスのとれた人
Balanced

省

振り返りができる人
Reflective



アリーナ



第2グラウンド

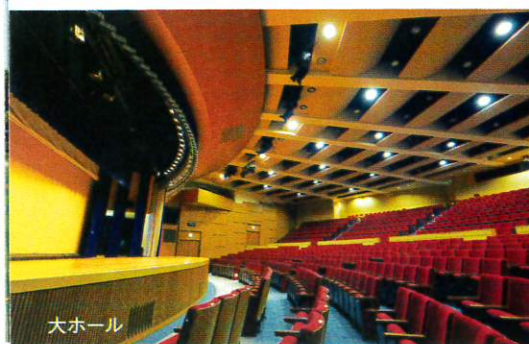


テニスコート



Ritsumeikan Uji

CAMPUS



大ホール



図書室



作法室



人工芝グラウンド



バス停



正門



おー!

初めて本校を訪れた親子は、キャンパスに足を踏み入れた途端に声をあげます。本校の校舎は、道路からの高台に建っており、外から学校の様子は見えません。バス停から階段を上がったところに広がるのは、まっすぐに伸びたプロムナード、人工芝で年中みどりに包まれたグラウンド、ゆるやかな曲線を描く2つの校舎とC棟。皆さんの学校生活を彩る舞台です。



コミュニケーションラウンジ



C棟 ラウンジ



メディアルーム

数字で見る立命館宇治

立命館宇治は、生徒が世界で活躍できるように、最先端の教育を展開し、進化し続けています。



多様な進学先

(2023年度卒業生)



立命館大学

推薦
制度

369人

立命館アジア
太平洋大学(APU) 5人

海外の
大学

世界大学ランキング

100位以内の大学 16校に合格

私立
大学

上智大学、早稲田大学、
慶応義塾大学、東京農業大学、
大阪歯科大学、国際基督教大学など

国公立
大学

岡山大学、
神戸市外国語大学

多様な生徒構成



帰国生比率 20%

※入学前の最終滞在国・地域: 41か国・地域

関西2府4県以外出身者

京都・大阪・兵庫・滋賀・
奈良・三重・愛知に広がる通学圏

84人

多様な教員陣



外国人教員 39人

※アメリカ、カナダ、オーストラリア、フィリピン、ロシア、トリニダード・トバゴ、
ハンガリー、ウルグアイ出身

日本人教員は、シンガポールや英国で教えたことのある教員、エンジニアやテレビディレクターとして勤務した教員が在籍

保護者の方に
聞きました



施設・設備が
整っている

97.7%

教職員は、生徒のことを
よく考えて指導している

86.0%

部活動や生徒活動が
活発に行われている

95.8%

活発な課外活動

全国大会出場クラブ 9クラブ(2023年度実績)

高校硬式野球部 (夏)

甲子園出場

高校アメリカンフットボール部

全国大会優勝

高校陸上競技部

**女子駅伝 3位
全国大会**

高校バトントワリング部

全国大会金賞

- 高校女子柔道部 全国大会ベスト16
- 高校チアリーダー部 全国大会出場
- 高校女子ラクロス部 全国大会出場

中学アメリカンフットボール部

全国大会準優勝

中学バトントワリング部

全国大会金賞

先端の教育環境

学内に完備

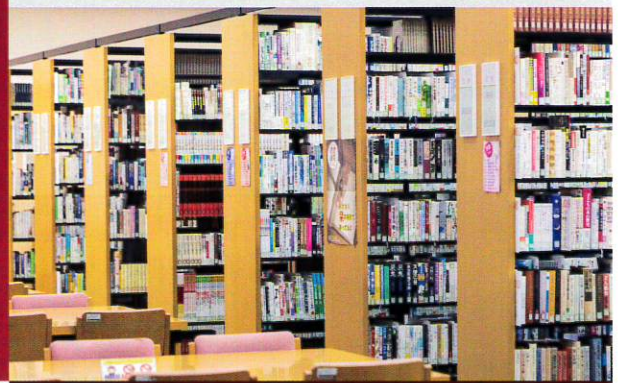
Wi-Fi



図書室の蔵書数(DVD含む)



56,630冊



IBコース

(過去5年の実績)

国際バカロレア(IB)
ディプロマ[※]取得率 **96.9%**
世界平均83.6%

過去5年の
合格者平均 **35.3点**
(45点満点)
世界平均31.2%

40点以上
の比率 **22.6%**
世界平均14.9%

※本校のIBコースは、日本の高等学校資格も取得することができます。

海外への1年間留学



累計約 **1,000人**

国際交流や留学など、国際的な
取り組みが充実している

94.3%

他の人(知り合いなど)にも
薦めたい学校である

88.5%

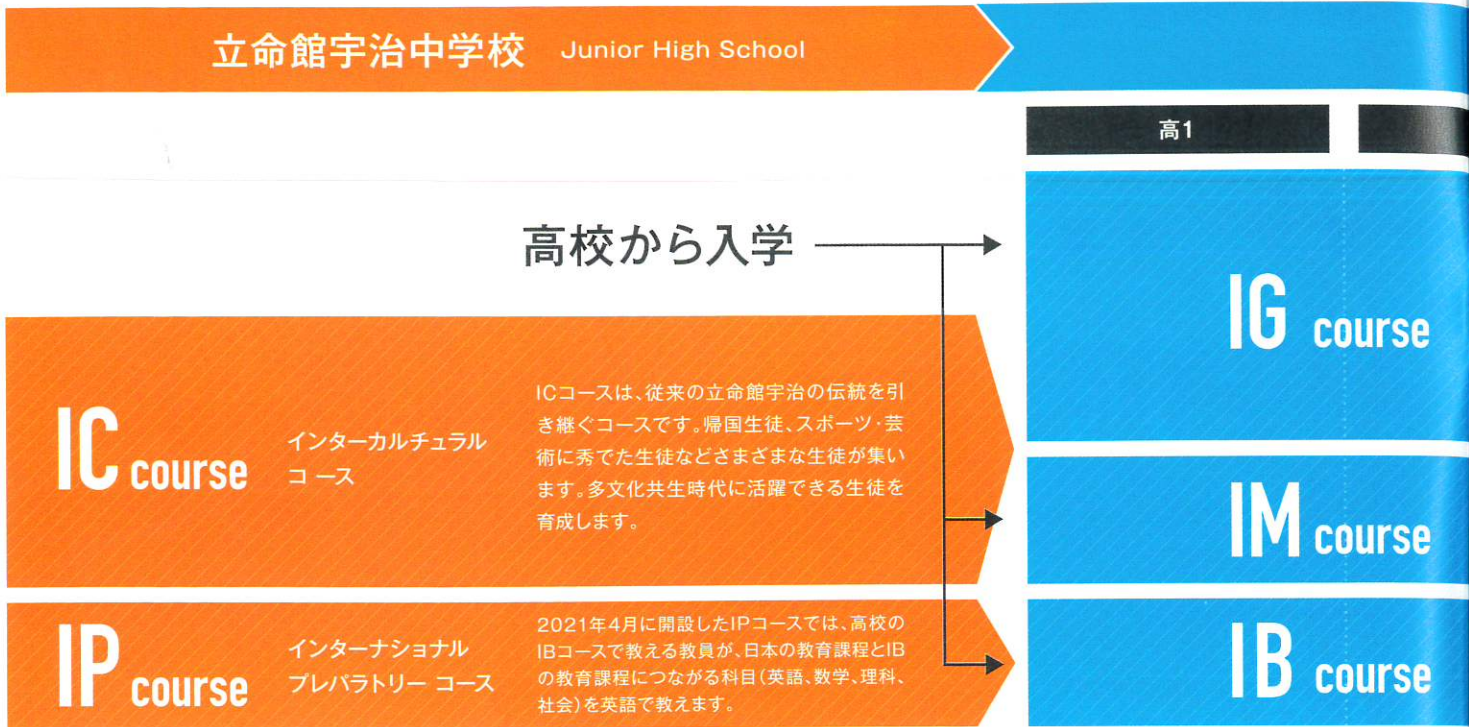
わが子を入学させて
良かったと思う

94.9%

わが子は、学校のことを
誇りにしている

89.4%

立命館宇治の多彩な進路



2023年度
海外大学合格実績 **のべ71人** 合格大学数 **52校**

		THE World University Rankings 2024 順位
Imperial College London	イギリス	8
University of California, Berkeley	アメリカ合衆国	9
Columbia University	アメリカ合衆国	17
University of Toronto	カナダ	21
University of Edinburgh	イギリス	30
University of California, San Diego	アメリカ合衆国	34
University of Hong Kong	香港	35
University of Melbourne	オーストラリア	37
King's College London	イギリス	38
McGill University	カナダ	49
Monash University	オーストラリア	54
University of Sydney	オーストラリア	60
Washington University in St. Louis	アメリカ合衆国	68
University of Queensland	オーストラリア	70
Boston University	アメリカ合衆国	78
University of California, Irvine	アメリカ合衆国	92

(※)2024年5月15日現在

国内他大学等進学実績(主な進学先) **29人**

岡山大学	上智大学	早稲田大学	慶応義塾大学	東京農業大学	大阪歯科大学	国際基督教大学
関西医科大学	兵庫医科大学	青山学院大学	明治大学	神戸市外国語大学	京都外国語大学	関西大学 他

京都から未来のグローバルリーダーを育成

2023年度の卒業生のうち14人の生徒が海外大学に進学します(※)。中でも、インペリアル・カレッジ・ロンドンやカリフォルニア大学は、THE世界大学ランキングトップ10の大学です。

立命館宇治中学校・高等学校が実践する、従来にない国際型一貫教育。

大学まで視野に入れた独自のカリキュラムによって社会で生きる力を身につけ、多彩な進路を切り拓きます。

立命館宇治高等学校 Senior High School

進路

高2

高3

インテグレイテッド グローバル コース

それぞれの興味関心に合わせて科目選択のできる
自由度の高いコースです。

SCS(サイエンスキャリアストリーム):理系学部への進学希望者を対象とした
大学研究室訪問や進路説明会、探究などのプログラムがあります。

GCS(グローバルキャリアストリーム):国連が提唱するSDGsを科目名とした
授業や模擬国連など国際的な素養を育てるプログラムがあります。

イメージョン コース

高校3年間のうち1年間の海外留学を必須とし、卓越した英語力を育
成するコースです。帰国後、教科の学習も英語で行うことで、英語を
使って社会で活躍できる力を育成します。

国際バカロレア コース

国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)に基づく学習を展
開。高校1年生から英語を基本言語とし、海外大学での学問研究にも
耐えうる語学力・知力・探究心を育てます。

R RITSUMEIKAN

立命館大学

APU Shape your world
Ritsumeikan
Asia Pacific University

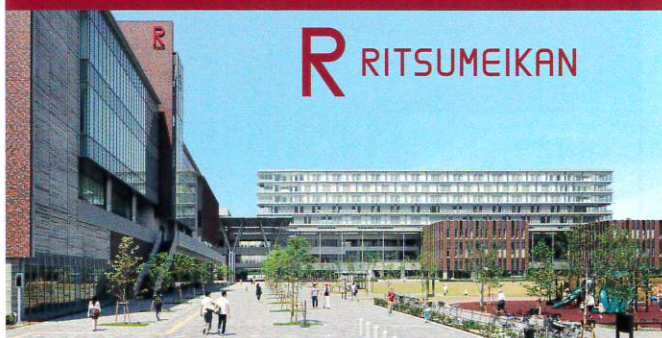
立命館
アジア太平洋大学
(APU)

国内・海外大学

十年後につながる多彩な進路

立命館大学

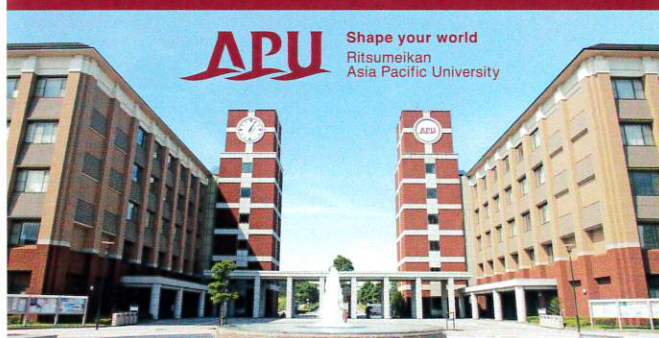
R RITSUMEIKAN



京都府、滋賀県、大阪府の3府県に人文・社会系から理工系まで
幅広い分野の学部・研究科を擁する総合大学。

立命館アジア太平洋大学

APU Shape your world
Ritsumeikan
Asia Pacific University



在学生約6,000名の約半数が世界106カ国・地域からの国際学生です。
APUの学びのフィールドは「世界」。

進学実績 (2023年度実績)

立命館大学

369人

● 法学部 ……………29	● グローバル教養学部 ……6
● 産業社会学部 ……59	● 経済学部 ……………26
● 国際関係学部 ……29	● スポーツ健康科学部 ……9
● 文学部 ……………39	● 食マネジメント学部 ……17
● 映像学部 ……………11	● 理工学部 ……………5
● 経営学部 ……………57	● 情報理工学部 ……23
● 政策科学部 ……31	● 生命科学部 ……………2
● 総合心理学部 ……22	● 薬学部 ……………4

立命館アジア 太平洋大学(APU) 5人

● アジア太平洋学部 ……………1
● 国際経営学部 ……………4
● サステイナビリティ観光学部 ……0



Harvard University
(ハーバード大学)
生物学専攻
藤村 芽生さん
2023年 IBコース卒業

©Sasakawa Peace Foundation

自分の「好き」とことん追求できた立命館宇治は 私の人生にポジティブな影響を与えてくれました。

地球温暖化が昆虫の生態に与える影響をテーマとして、IBの集大成となるEE(研究論文)を昆虫学者の協力を得て書きあげたことは、私の進路を決定づける特別な経験となりました。先生方も実験計画や論文執筆など、さまざまな面で研究活動を応援してくださいました。

中学ではIPSコース(現IPコース)で学びながら、日本舞踊や茶道などの日本文化に触れ、合唱コンクールや演劇などの行事を経験することができました。高校では忙しいIB生のスケジュールに理解があり、吹奏楽部を中高6年間続け、大切な仲間を得ることもできました。現在大学でも多くの仲間たちと吹奏楽を楽しんでいます。昆虫も、音楽も、私の好きなことを思い切りさせてくれた立命館宇治の環境は、私の人生にとってもポジティブな影響を与えています。



京都大学大学院
人間・環境学研究科博士後期課程
言語科学講座
織田 佳那さん
2015年 普通コース(現IGコース)卒業

中高一貫校で英語を教えながら、 大学院で英語学習法を研究中です。

私は、立命館宇治高校の3年間で、さまざまな課外活動に参加させていただきました。特に、日本・中国・韓国の3か国の中高生が交流するキャンプや、中国語スピーチコンテストの世界大会、カナダでの短期留学などの国際活動を通して、視野を広げることができました。また、授業の中では正解のない問題について考える力や、自分の考えをわかりやすく伝える表現力を伸ばすことができました。現在は、中高一貫校で英語科教員をしながら、大学院で英語学習法の研究をしています。高校3年間で培った海外経験や論理的思考力が現在のキャリアや研究活動に活かされています。

Message from Graduates

卒業生からの
メッセージ



立命館大学
情報理工学部
谷口 治貴さん
2023年 IGコース卒業

WOWプログラムでITに興味を持ち、 現在はサイバーセキュリティ団体の代表！

私は立命館大学情報理工学部に所属しており、サイバーセキュリティに関する団体の団体長をしています。中学のWOWプログラムがきっかけでITに興味を持ち、この分野に進みました。高校時代は生徒会長として「開拓」をスローガンに掲げ、興風祭での新企画立ち上げや生徒会TVの創設、難民を支援する活動を行いました。同じ志を持つ仲間と出会い、挑戦を応援して下さる先生と出会い、企画と本気で向き合い実現させる過程を通して、夢をカタチにする達成感を味わいました。立命館宇治は、私にとって可能性を「開拓」してくれた場所だと感じています。



立命館大学
グローバル教養学部
グローバル教養学科
日詰 琴梨さん
2022年 IMコース卒業

可能性を広げ、新しいことに挑戦！ 学びや体験の全てが今に活かしています。

カナダでの留学経験や課題解決型の研修旅行、仲間と共に創り上げた国際会議などが、印象に残っています。自分がしたいことを後押ししてくれる環境があり、どんな新しいことにも挑戦することができました。自分の可能性を広げ、新たなことに挑戦することの大切さを学びました。そのような経験を背景に、私はより幅広い知識と新しい視野を得たいという思いから、立命館大学グローバル教養学部に進学しました。そして今、オーストラリア国立大学でアジア太平洋学を学んでいます。立命館宇治で培った英語力やコミュニケーション能力、そして挑戦する意欲が、私の留学生生活をより充実したものにしてくれています。



メディア・メトル(株)
ディレクター
岩元 晴香さん
2014年
普通コース(現IGコース)卒業

生涯のテーマと出会えた社会の授業。 大きな夢を与えてくれた先生に感謝！

高校時代で一番印象に残っているのは、社会課題の解決に取り組むNPOや学生ボランティア団体関係者を招いて話を聞くという社会科の授業です。そこで知った「日本の難民問題」は、私の生涯のテーマになりました。初めて「もっと知りたい」という思いが芽生えた私は、国内外の大学院進学を経て、現在はドキュメンタリー映像専門の制作会社で働いています。いつか日本の難民問題を取り上げたドキュメンタリー映画を作りたいと考えています。自分に大きな夢を与えてくれた授業と先生に心から感謝しています。



ブリヂストン・マイニング・
ソリューションズ・オーストラリア
Pty Ltd 技術サービス
シニア・スペシャリスト

足立 英之さん
2015年 IBコース卒業

さまざまな国の価値観や文化を尊重し、 協調する力がグローバルビジネスに活かれています。

私はIBコースに進学し、日中は英語の環境で授業を受け、放課後は吹奏楽部の仲間と練習に励む日々を送っていました。そんな生活の中、海外特有の価値観や文化、日本特有の価値観や文化に触れ合う機会がたくさんありました。そして両方の文化を尊重し、世界中の人々と強調する力が身についたと考えています。

現在は鉱山車両用タイヤが使用される豪州の現場から、タイヤの性能課題を見つけ出し、日本の本部と協力しながら価値を創出・向上する仕事をしています。さまざまな人々との協調が必要不可欠であり、高校で培った力が大きく役立っています。

立命館宇治で過ごした日々を糧とし、社会や進学先でグローバルに活躍する卒業生に語っていただきました。
立命館宇治で学ぶ皆さんが将来、夢を実現させるための参考にぜひご覧ください。



株式会社 デジリハ
国際展開室 室長
高木 萌子さん
2003年 APU-IPコース
(現IMコース)卒業

意思と目的を大切にする学びの体験が 「描きたい未来」に向かう原動力。

2000年のImmersion Program(現:高校IMコース)1期生だった私は、NZへの留学も含めて英語漬けの青春時代でした。「英語は道具だ」と話す当時の副担任だったアメリカ人の先生の言葉は、今も私のなかで強く残り続けています。正しい英語を話す能力以上に、「英語を通して何を伝えたいのか」という意思と目的を持つことが大事だと学びました。現在、デジタルの力で障害者のリハビリを楽しくするグローバル企業で働いており、世界の仲間達と英語を通して「障害者の社会参画」に取り組んでいます。自分自身がめざす描きたい未来に向かって走り続ける原動力に、高校時代の学びが活きていると強く実感します。



株式会社サイバーエージェント
Cyber AI Productions
スタジオエンジニア

海木 一佳さん
2015年 普通コース(現IGコース)卒業

型破りな活動を支える自由な校風。 成功体験の連続が揺るぎない自信に！

私は高校に入学してすぐに生徒会に参加し、3年生では生徒会長を務めました。多くのコースや自由な校風、それから自分の性格ゆえに型破りな提案と活動をしていたと思います。しかし、学校にはどれも常に前向きに「なぜそう考えたのか」、「どうすれば実現するか」と一緒に考え、私の自由な挑戦を応援して頂き真剣に取り合ってもらいました。初めは人前に立つのも緊張して声も裏返り、震えていたものですが、活動していく中での成功体験が重なり、堂々と話せるようにもなりました。そういった経験が今の私の挑戦心を育て、自分自身を信じて行動する力をつけることに大いに寄与していると思います。

Message from Principal



Your Link to the World

～学んだぶんだけ、世界が近くなる。～

今、世界はかつてないスピードで変化しており、私たちは環境変動、経済の格差、国際的な紛争といった数々の複雑な課題に直面しています。これらの課題は、地球規模での連携と持続可能な解決策を必要としています。私たち一人ひとりが、グローバルな視点を持ち、互いに対話と協力を通して問題解決に取り組むことが求められています。

多様な文化や価値観を理解し、異なる立場の人々と建設的な議論を展開することは、今日の国際社会において不可欠です。立命館宇治中学校・高等学校では、高い理想と社会的責任を胸に、さまざまな課題に挑戦する勇氣と力を育みます。私たちは、違いを尊重し、共通の目標に向かって協力する力、そして公平かつ公正な判断ができるリーダーを育成することをめざしています。

ここでの学びは、理解と共感を深め、多角的な視点を養うための場です。知識だけでなく、それをどう活用するかを学びます。気づきが視野を広げ、世界への理解を深めることで、あなた自身の未来だけでなく、社会全体の明るい未来を形作ることに貢献します。未来はあなたの行動と気づきによって創られます。立命館宇治で共に成長し、新たな一歩を踏み出しましょう。

立命館宇治中学校・高等学校 校長 越智 規子

熊谷 向祐 先生
中学教頭

安心して「出る杭(くい)」になれる場所。

立命館宇治中学校の辞書に、「出る杭は打たれる」という言葉はありません。ここは「出る杭は応援される」学校です。興味を掻き立てられる授業、心一つにみんなで燃える学校行事、仲間との絆を育む部活動、他にないホンモノ体験ができる多種多様なプログラム。これらを経て、1人1人が自分らしさを開花させ、誰もが「出る杭」になることができます。そして誇りに感じることは、学校が「誰かのために」という精神にあふれていることです。みなさんが何かにチャレンジするときは、必ず周囲の仲間が応援してくれます。困ったときは、手を差し伸べてくれます。立命館宇治中学校は、安心して自分らしさを発揮できる、誰にとっても居心地のよい場所なのです。

西原 丈人 先生
高校教頭

失敗を恐れる必要のない環境があります。

「失敗することを恐れず何事にも挑戦しよう！」さまざまな場面で使われる言葉ですが、この言葉だけを聞いて、失敗を恐れず挑戦できる人がどれくらいいるでしょうか？本校の在校生や卒業生は、失敗を恐れず果敢に挑戦して成功している人たちが多くいます。その理由は、教職員が冒頭のような言葉をかけ続けているからではなく、「安心して失敗できる環境」が整っているからだと自負しています。本校には、国際大会や全国大会で活躍するアスリートやアーティスト、幼い頃から海外で生活してきた帰国生、海外大学進学をめざす生徒、在学中に留学を経験する生徒など、多様性に富んだ生徒たちがいて、互いに刺激を受け合い、認め合い、許し合って生活しています。その中で相手を尊重する精神と「失敗しても大丈夫」という安心感が培われていくのです。さあ、みなさんも「安心して失敗できる環境」で学び、「挑戦」しましょう！

好奇心を起動させる個性あふれる教師陣

先生からのメッセージ

THOMAS
Matthew 先生
IBDPコーディネーター

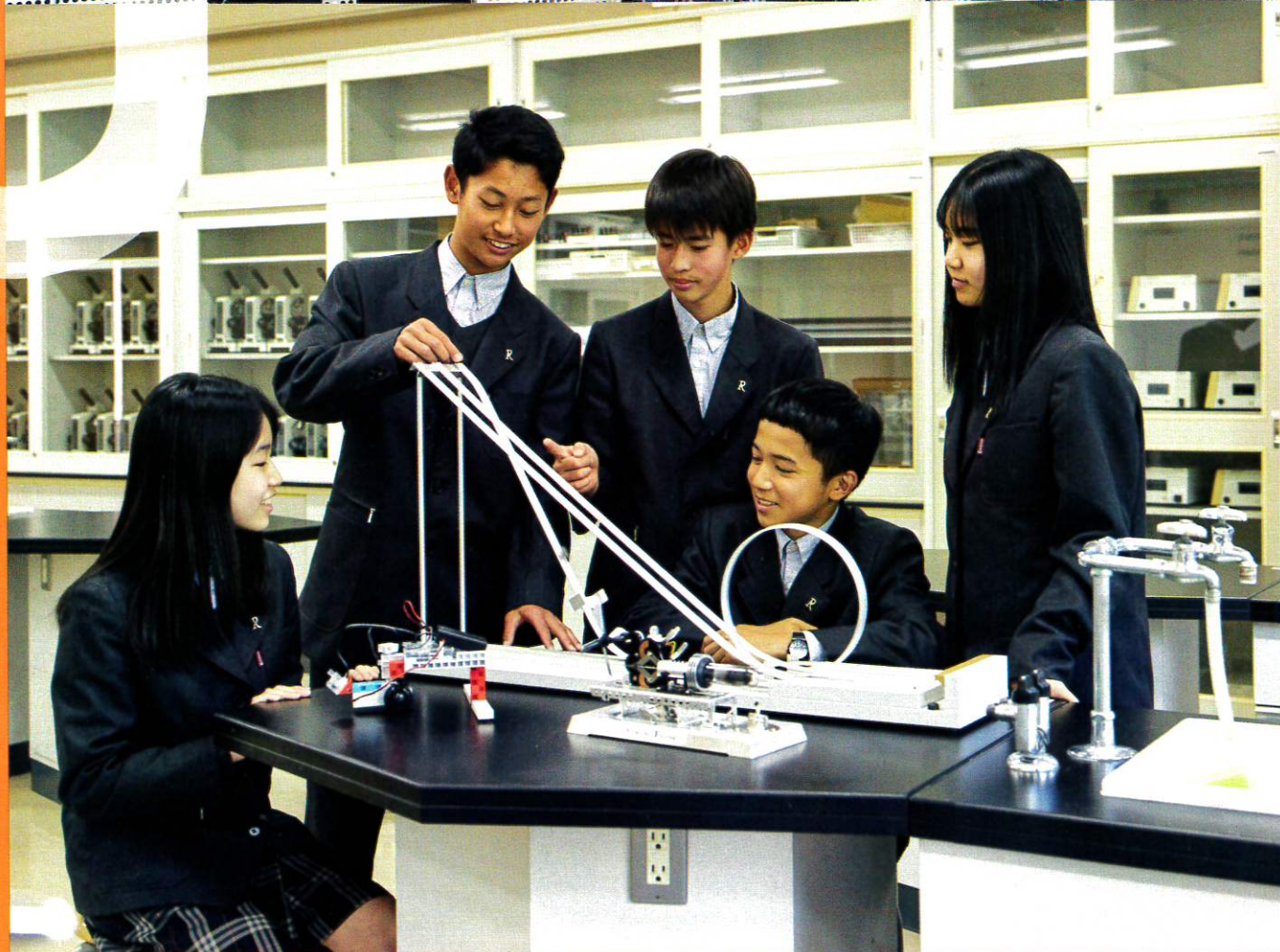
Unlock Your Potential: Thrive in Our Leading IB Program.

With fifteen years of experience offering IB, we believe we have the premier IB program among Japanese schools in the country. Our IB Course is a holistic three year program that given students the opportunity to receive both a Japanese high school diploma and a coveted IB Diploma. Along the way, students will learn research skills, critical thinking skills, and develop personally and as young leaders poised to make a difference in the world. Graduates from our program have gone on to study at top colleges and universities in Japan and around the world and to work in a diverse range of fields. Our promise to you is that the teachers and staff of our IB Course will work every day to provide world-class instruction and support to ensure you maximize your time with us. Our hope is that you will not only excel academically, but also find your niche in our vibrant and growing program. We look forward to working with you.

高野 阿草 先生
IM教育部長

想像を超える自分に出逢いましょう。

「Beyond Yourself」3年間、IMコースの生徒たちが何度も自分に言い聞かせる言葉です。英語を実用レベルで話している人口は世界人口の25%。4人に1人が英語を使用していると言われています。そんな時代だからこそ英語を話せるようになりたいと考える人は多いはず。しかし、IMコースのゴールは留学ではありません。留学で得た経験と身につけた英語力を活かし、平和な世界を自らの手で築くために行動できる人。それがIMの目指すゴールです。留学後にはMUN、新興国でのインターンシップ型研修旅行、GLS等、自分の視野を広げ、実力を磨くためのチャンスがたくさんあります。高い志を持つ仲間と共に、自分の想像を超える自分と出逢う学びができる。それが立命館宇治のIMコースです。共にワクワクと幸せであふれる世界を創りあげましょう！



学力と人間力の
基礎を鍛える

中学校

J
U
N
I
O
R

H
I
G
H

S
C
H
O
O
L





IC course

中学コース



多様な学びを通して、 探究力を育む

「自走する中学生に」

立命館宇治中学校は2022年度に創立20周年を迎え、その節目を経てさらに教育の質を高め、進化を続けています。ICコースでは、ICTを活用した教科学習の強化はもちろん、TOK道徳や総合学習(1年:日本文化講座、2年:木工、3年:演劇)など、多岐にわたる学問を横断して学ぶ機会を提供しています。また、WOWプログラムを通じて、生徒はホンモノの体験をもとに、自らの興味・関心を広げ、多様な視野を持つようになります。

中学教育の核となるリーダーシップの育成と自主自立の精神は、本校の教育方針の中心にあります。3学期の終わりには、各学年、生徒が主体となる「まとめの活動」があります。この期間中、生徒たちは過去の振り返りと次年度の目標設定を行い、クラスや学年全体でさまざまな企画を自分たちで考え、企画にしています。企画の準備は12月から始まり、昼休みを利用しての日常的な会議が自立心と協働の精神を育てます。1年生時には教員の手厚いサポートを受けることが多いですが、3年生になると、どんどん教員の手から離れて「自走する集団」へと成長していきます。周囲を巻き込みながら中学の完成形をめざす彼らの姿を、私たちは大変頼もしく思います。



POINT 01

伸び伸びと大きく成長する3年間

中学は6クラス構成で、2～6組の5クラスがICコースです。現在の1年生は22期生で、20年以上の歴史を持つこのコースは、伝統を守りつつも革新的な進化を続けています。多様性が一つの大きな特徴で、国内外のさまざまな背景を持つ生徒が集まっています。スポーツ・文化活動の才能を持つSA生徒や、海外生活の経験を持つ生徒も多く、相互理解と尊重の文化の中でそれぞれが自身の可能性を広げています。

授業ではICTを積極的に活用し、生徒に多様な学びの形式を提供しています。リサーチ活動、グループワーク、プレゼンテーションといったプロジェクトが多く、新入生はその活動の豊富さに驚かされることでしょう。英語教育においては、レベル別の授業が設定され、全生徒が適正な環境で英語力を伸ばすことが可能です。ネイティブの教員との距離が近いことも、英語学習の大きな利点です。

学校行事は生徒の熱意が特に高く、体育大会や合唱コンクールではクラス全体が一丸となって優勝をめざします。これらの行事を通じて、団結力と協調性を育む重要な機会となることはもちろんですが、単に競い合うこと以上に、学年・学校全体をみんなで盛り上げる気持

ちが強いことを私たちは誇りに思っています。また、3年生の夏にはオーストラリアでの研修旅行を実施し、2週間のホームステイを通して、生徒たちは英語力の向上はもちろん、自立した生活を送るための重要なスキルを身につけます。この経験は、学生生活の集大成として、彼らの自信と世界観を形成する貴重なものとなります。



Student's Voice

山下 惺さん
樫原市立真菅小学校出身

初めて見たときは、小学校にはなかったさまざまな施設や広い校舎があることに驚きました。小学生の時に、人工芝のとても大きい第一グラウンドを見て、感動したのを覚えています。

幼いころにインドネシアに住んでいた経験もあり、将来も海外で仕事に就きたいと考えています。そのためにも、学校で将来のために日々勉強に取り組んでいます。

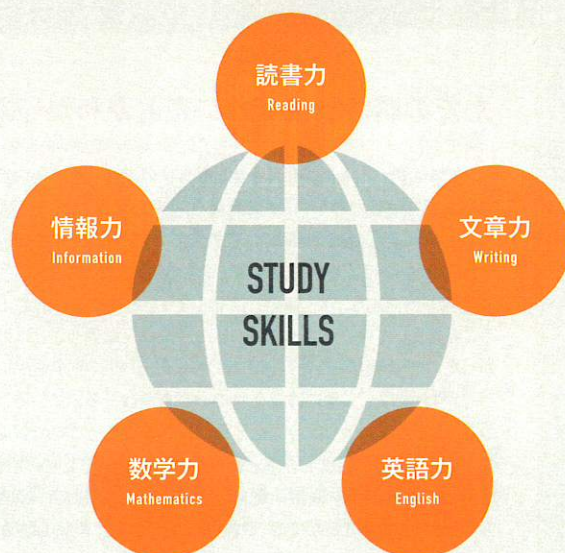
総合のQuestの授業では、動画作成やパワーポイントでのプレゼンテーションなど楽しく活動しています。



POINT 02

基礎学力を伸ばす5つの「スタディスキル」

高校や大学で高度な研究を行い、応用力をつけていくための基盤となる基礎学力を鍛えます。英語検定や漢字検定など、客観的な評価基準に照らして到達目標を定めることで、モチベーションも維持します。中学校でのバランスの取れたスタディスキルの習得が、高校での学習に活かされます。



英語

谷 英樹 先生



自分の言葉で表現してみよう！

人工知能や翻訳の機能が精度を上げて、日本語を打ち込めば英語に簡単に変換してくれるこの時代になぜわざわざ英語を学ぶのか、生徒たちが一度は疑問に思うことです。しかし変換された言葉には自分の思いが込められていません。1つのことを表現するにも表現の仕方はさまざまです。自分たちが学んできたことから、自分で言葉を紡いで、それが伝わったときの嬉しさを味わってこそ、初めて語学の楽しさを感じることができるのではないでしょうか。立命館宇治中学校では3年生の夏休みに2週間、オーストラリアへ研修旅行に行きます。そこで「伝わった！」の喜びをたくさん味わうために、日々の授業では自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現する時間を大切にしています。

国語

中村 華 先生



答えは一つじゃないから難しい。 けど、この考えも面白い！

授業で、生徒がつぶやいた言葉です。私たちが大事にしているのは、語彙力や読解力を身につけることだけではありません。それと同じくらい、言葉を通して自分の考えを発信したり、他の人の考えを受け入れたりすることを大切にしています。自分の考えを持ち、相手に正確に伝え、相手から新しい考え方を受け取る。これが、コミュニケーションの力です。自分とちがう考えを知り、得る気づきこそが、新しい視野を育みます。授業では文学作品や古典作品を扱い、言葉やストーリーが持つ力を感じながら、新しい世界や、知らなかった時代にどんどん飛び込み、内面を豊かにします。小論文やスピーチ、プレゼンテーションの授業では、日本や世界のさまざまな社会問題に目を向けて、論理的に思考し、意見を正確に表現するための力を育てます。常に問うのは、「あなた自身の意見は何？」そして「他の人の考えを聞いて、どのように考えが広がった？」ということ。コミュニケーションの力をしっかりとつねながら、自分の可能性や世界を広げましょう。

Subject Guidance

理科

福島 賢 先生



ただの暗記科目でないことがわかりました！

「理科は深く考えれば考えるほど難しい質問が出てきたのでとても面白かったです。」これは1年間を終えて生徒たちが書いた振り返りの言葉です。人は新しい出会いを通して、これまでの価値観が大きく変わります。立命館宇治中学校で理科を学んだ1年生の90%以上の生徒が1年間を通して理科が好きになった、嫌いではなくなったと答えています。「実験は間違えることもあって嫌だと思っていました。けれど、間違えることは悪くないとわかったので実験がもっと好きになりました。」「教科書が魔法の書だということがわかった。」「目には見えないけど力がはたらいていることに驚きました。私のお気に入りには目に見えない力を観ることです。」「多くの偉人が人生をかけて探究したことがまとめられている教科書を読み解き、偉人たちが行ってきた実験や観察を経験することで、これまでとは違うものの見方、考え方を得ることができ、日常生活が一変します。みなさんも先輩たちのようにそんな体験を立命館宇治中学校でしてみませんか？

数学

瀬野 智也 先生



何のために数学を勉強するのですか？

何のために数学を勉強するのでしょうか。素早く計算できるようになるためでしょうか。図形の面積や体積を求められるようになるためでしょうか。難しい入試問題を解けるようになるためでしょうか。もちろんこれらの技能を身につけることは、数学を学ぶ理由の1つです。しかし、それだけではあまり将来の役に立ちません。公式を学ぶ際は、公式を丸覚えするのではなく、なぜそのような公式で計算できるのか体験的に学ぶことで、新たな計算も自らの手で解決できる力を身につけます。また、数学の問題を解くときには、解決したい課題は何なのか明らかにし、解決するために何をすればよいのか、筋道を立てて考える力を身につけます。数学を学び、数学を活かせるようになりましょう。

社会

大井 喜代 先生



時空を超えて世界を知ろう！

私たちが「未来を信じ、未来に生きる」ためには、過去を学び、地球規模で世界を学ぶ多角的な視点が必要です。立命館宇治中学校の社会科ではICTを活用して、科目や分野を超え、時間や空間を超えた幅広い知識と思考で、物事の本質を見抜く力を養っていきます。地理では地理情報システムや茶摘みの体験などを通して宇治地域の特徴を考え、歴史的背景には何があるのか、身近な地域と世界がどうつながるのかを考察します。生じた疑問は大切に、主体的に学ぶ力を身につけます。また、発表や議論の機会を多く設け、意見の違いを尊重しつつ、そこから見える「気づき」も大切にします。みなさんの行動が未来の世界を築いていきます。豊かな知識は、大切なあなた自身を、家族を、地域を、世界を守ります。さあ、知識を携えて、世界に、そして未来に羽ばたこう！

保健体育

木下 裕介 先生



みんなの理想の生活ってどんなものですか？

立命館宇治中学校では、みなさんが健康で楽しく毎日を過ごせるよう、保健と体育の授業に力を入れています。保健分野では、みなさんを取り巻く環境の中で、自分の目標を持ち、生きがいや満足感といった生活の質(Quality of Life)を大切にしたい生活が送れるように学んでいきます。また体育分野では、運動することで自分の心身のことを知ったり、さまざまなスポーツを通して心を動かされたり、人と人がつながる尊さを知ることができます。運動は、強く健康な体をつくるだけでなく、心を豊かにし、生活の質を向上させてくれます。保健と体育を通して、心も体も元気になる知識と技術を身につけましょう。

当たり前の中に新発見がある！

技術・家庭では未来の生活者を育てることを目標にしています。「答えは一つではない」からこそ面白い教科です。生活のあり方は、社会や生活意識の変化に影響を受けます。授業では、生活の営みに関わる知識・技能を身につけることだけでなく、生活の中の当たり前を揺さぶることを大切にしています。立命館宇治中学校には多様なバックグラウンドを持つ生徒や教員がいます。このことを強みに、未来の生活をより良くする基礎を、対話や学びを通してつくっていきましょう。

技術家庭

川口 志穂 先生



音楽

福原 教恵 先生



これって、どんなリズムですか？

音を聴いてリズムを口ずさんで再現したり、楽譜を見てリズムを読み取ったりするなど、どうなってるの？どうやればできるの？と疑問を理解することから学びが始まります。私たちの生活の中には音があふれています。作曲家によって作られた曲、生活の中で生まれる音を私たちは音を聴いて記憶し、何を表現しているのか、何を感じるのか、耳をすませ、心を動かしていきます。音楽は個人の技量を高めることもあれば、集団だからこそ楽しめる音楽もあります。立命館宇治中学校では11月に「合唱コンクール」が開催されます。音楽づくりの源でもある自分の声を使って、一緒に音を奏でる喜びや響きの美しさを体感して、演奏していきます。さらに、言葉を理解し、想像して、表現力を高めていきます。美しい音を求めて、一緒に学んでいきましょう。

美術

熊本 恭子 先生



「美」とは何ですか？

立命館宇治中学校の美術は、「美に関する古今東西の知識・技術」の学びです。彫刻・絵画・庭園・建築はもちろんのこと、日常の食事にもさまざまな「美」があふれており、それらを学ぶことで不思議と、それらの美を造り出した人々の考え方に触れます。この考え方がとにかく面白いし、意外な視点にも気づかれます。そして、さまざまな制作に取り組む事で、表現力が身につきます。課題は年によって変化しますが、人体クローキー、写生、針金で生き物を作ったり、物語の登場人物を描いたりもします。また、日本のお弁当文化からも美を学び、自分でデザインしたお弁当を粘土等で作ることもします。制作材料も水彩、油彩、粘土、模型材料、針金、紙、藍、絹、墨と多種多様な材料を、課題に合わせて使用します。いっしょに「美」について学びましょう。



IP course

中学コース

京都で育む IB Learner

IPコースでは、高い意欲で自ら学び、挑戦することを楽しむ生徒を歓迎します。しかしながら、学力や英語力の高い生徒を育成することだけがIPコースの目標ではありません。国際的に活躍する素地を身につけながら、一人ひとりの心に日本の文化が根づくことを大事にしています。学校の立地を活かして行われる日本の文化や伝統を学ぶ活動を通して、また、日本の学校ならではの行事を通して日本の慣習を経験し、尊重する心を育みます。IBコースで学ぶ土台を身につけるだけでなく、日本の心を持ち、多様なものに心を開く生徒の育成をめざしています。



高度な英語力を鍛え、 IBコースをめざす

「JAPANマインド × IBの礎」を学ぶ

本校では2021年度にIPコースを新設しました。IPコースとは高校IBコースに直結するコースで、高度な英語力を備えた生徒が高い学習意欲を持ってさまざまな学習をします。数学・理科・社会・英語のIP科目は高校IBコースを担当しているネイティブ教員が英語で指導します。3年間の学びにより、高校IBコース進学後にスムーズなステージ移行が可能となることが最大の魅力です。また、行事（体育大会・文化祭・合唱コンクール）や総合学習[※]、学年の活動においては、IP・ICコースがいっしょに取り組むため、多くの仲間と団結し、日本の文化を学びながらIB進学の素地をつくっていくことができます。

また、同じキャンパスに中学IPコースと高校IBコースの縦のつながりがあることにより、安心した環境で学びを継続することができます。IPコースは、日本人担任とネイティブ担任（IB教員）のデュアル担任制となっており、より細やかに学習面・生活面をサポートします。

[※]総合学習（1年：太鼓・日本舞踊、茶道、陶芸、書道 2年：木工 3年：演劇）

[※]国語の授業は習熟度に応じてJSL（Japanese as a second language）の受講が可能です。



POINT 01 琵琶湖トリップ BIWAKO Trip



IPコース全生徒の一体感を生み出す!

BIWAKO TRIPはIP3学年全員が楽しむ企画です。毎年1学期の期末試験後に琵琶湖に行きます。企画は主にIPC委員(IPコース独自の自主活動グループ)が中心となって進めます。カヤック体験ではクラスの中でペアを決めたり、バーベキューでは3学年をシャッフルしてグループを作ったりすることで、クラスの親睦が深まり、またIPコース3学

年の縦のつながりも強くなります。普段はアカデミックな取り組みに奮闘している彼らが、自然の中で、全力で楽しむ姿がとても印象的なイベントです。オンとオフをしっかりと切り替えて生活している生徒たちの様子を教員も微笑ましく見守っています。



Student's Voice

建口 結実さん
光華小学校出身

IPコースでは、数学、理科、英語、社会を英語で学びます。海外経験のない私にとっては、毎日が新鮮な体験で不安なこともありましたが、友達や先生のおかげで楽しい毎日を送っています。

私は将来海外の大学に進学して、ビジネスを学びたいと思っています。社会の先生はよく世界の政治やグローバルな話をしてくださるので、将来へのモチベーションが高くなります。

自主活動にも積極的に支援してくれる学校なので、私は現在学校からいただいた支援金でコンポストに挑戦しています。これからも、いろいろなことに挑戦し、将来につなげていきたいです。



POINT 02 SCAVENGER RACE & 宇治ウォークラリー Uji Walk Rally

高校IBコースの先輩との交流イベント!

10月に実施している、スカベンジャーレースと宇治ウォークラリーは同日開催です。スカベンジャーレースに参加するのはIPコースの1、3年生と高校IBコースの2年生です。スカベンジャーレースは、学校に隣接した太陽が丘で行われるオリエンテーリングです。IPとIBの生徒が交流するので、先輩からいろいろな高校生活の話を聞きながら、楽しむことができる縦のつながりを重視したイベントです。

宇治ウォークラリーはIPコース2年生のイベントです。地元である宇治の魅力を発見するために、各グループで計画してコースを決めて散策します。平等院、抹茶、組み紐、鵜飼、宇治川、宇治上神社など、改めて宇治の魅力に感心したり、意外な発見をしたりすることも…。後

日、発見した魅力について外国人観光客向けにポスターを作ったり、プレゼンをしたりします。この日の最後は、太陽が丘でスカベンジャーレースの生徒と合流し、大縄跳びなど自分たちで考えた企画を楽しみます。



ENGLISH

Teacher. SIM Scott

Language is fundamental to communicating, learning, and thinking. It plays a key role in the development of critical thinking skills, cultivating international-mindedness, and participating in communities at both local and global levels. In IP English, we aim to engage students in the study of many aspects of English language and literature. Students study a wide range of literary and non-literary text types and learn about different writing styles and techniques, allowing them to understand the significance of context, audience, purpose, and the effects of the use of linguistic and literary devices. Student-focused classroom activities develop their skills in six broad areas—reading, writing, listening, speaking, viewing and presenting. Their interactions with texts generate social, political, moral, economic, cultural and environmental insights, and students learn how to convey their opinions, make informed decisions, and engage in ethical reasoning. Regular focused assessment aims to improve students' retention of knowledge and develop their productive and analytical skills. Overall, this course aims to help them develop the study and self-management skills that will prepare them for more advanced studies in language and literature in high school and beyond.



MATHEMATICS

Teacher. PULOHANAN Ma. Cristina

In the IP course, students learn about essential mathematical concepts to build their knowledge and skills in preparation for the IB course. The lessons are tailored in a way to promote inquiry and provide challenges so they may enhance their problem-solving and critical-thinking skills. They can then apply these skills to solve problems that are abstract or reflect real-world situations. Students also develop their technological skills through the various programs taught and used in class such as Geogebra to solve problems and model and display mathematics. The IP math curriculum is designed so that it not only covers the required components of a Japanese curriculum but also includes additional material that reflects the IB. The teaching style is also quite different, where the focus is on the students. They are expected to be actively engaged in class and take ownership of their learning. Embedded in the curriculum are five different approaches to learning skills adopted from the IB, such as thinking, communication, social, self-management, and research, to help train students to become more independent learners. For example, IP1 students are assigned to write a paper to reflect on their performance on in a recent quiz. They'll write how much they've prepared or not and what they'll do differently next time. They'll also type the detailed solution to a question that they did well on or struggled with using appropriate mathematical terminology and notation and following the MLA format. By the time students finish the IP course in junior high, they'll be well-equipped to face the demands of the IB math course in high school and beyond.



SCIENCE

Teacher. MACKENZIE John

Science is a subject which is learnt by doing, through scientific inquiry and experimentation. This is at the very core of our teaching philosophy in IP Science. We aim to facilitate a safe learning environment which invites students to be curious and inquisitive young scientists. Together, we develop effective strategy to find solutions to real problems through experimentation and research. Regular and rigorous contextualised assessment helps bolster retention of knowledge and ensures student outcomes are aligned with IB expectations.

Through regular lab time in our new dedicated labs, students are exposed to specific practical techniques and will learn to develop both critical and creative thinking skills as they analyse data, draw conclusions, and evaluate working methods. Student led classroom activities, focused on teamwork, collaboration and discussion, arm students with a plethora of other social and academic learning skills, transferable to other walks of life. We hope your child is ready to join us on this journey of discovery as we endeavour to explore the mysteries of our natural world!



SOCIAL STUDIES

Teacher. BUTTERFIELD Timothy

Social studies is a field which studies the systems that make up our society. In learning about these systems, we look at human behavior, relationships, resources, and institutions. The main goal of teaching social studies is to help students better understand the world they live in. We are living in a diverse society — one that requires knowledge of social studies to succeed. This subject shows us that humankind, past and present, shares the same basic ideals, feelings, and hopes. Social studies also connects students with the real world. In today's interconnected world, young people must be prepared to interact with people of all cultures and communities, and social studies prepares them for this. IPC students learn skills through social studies that will help them succeed in further education as well as life. These skills include learning skills such as reading, writing, analysis, and critical thinking, as well as skills like improved cultural and real world understanding. IPC Social Studies at Ritsumeikan Uji aims to help you appreciate the importance of studying human society, while developing and how to develop a clear understanding of it. The knowledge and skills you develop in this course will be vital for your future studies in senior high school, particularly if you progress to the International Baccalaureate Diploma Program.



豊かな時間

アメリカン
フットボール部

(部員数51名)

第10回
日本中学生アメリカン
フットボール選手権 準優勝

第78回
毎日甲子園ボウル
中学生招待試合 勝利

目標に向かって
仲間との絆を育む

Activities

共に挑む

バトン トワリング部

(部員数35名)

第51回
バントワーリング全国大会 金賞

サッカー部

(部員数37名)

令和5年度
京都府中学校
夏季総合体育大会 3位

軟式野球部

(部員数26名)

令和5年度
山城《軟式野球》スプリングマッチ
2023 ベスト4

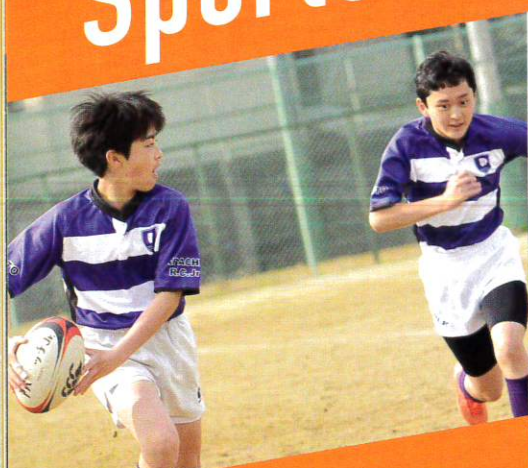
アイスホッケー

〈個人活動種目〉

第4回
ユースオリンピック冬季競技大会
女子アイスホッケー 銀メダル

※部員数は2023年度実績

Sports & Culture



ラグビー部 (部員数5名)



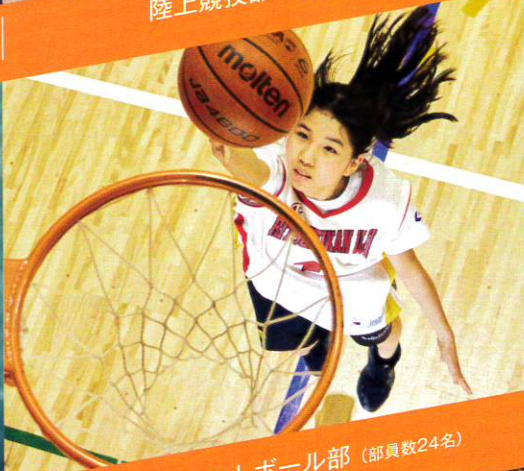
陸上競技部 (部員数53名)



女子バドミントン部 (部員数42名)



男子硬式テニス部 (部員数51名)



女子バスケットボール部 (部員数24名)



女子硬式テニス部 (部員数35名)



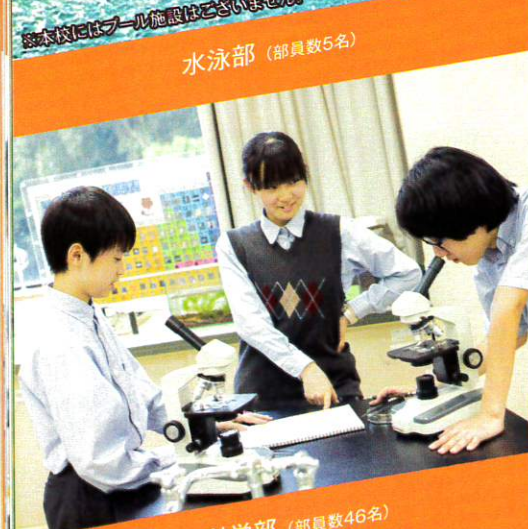
水泳部 (部員数5名)



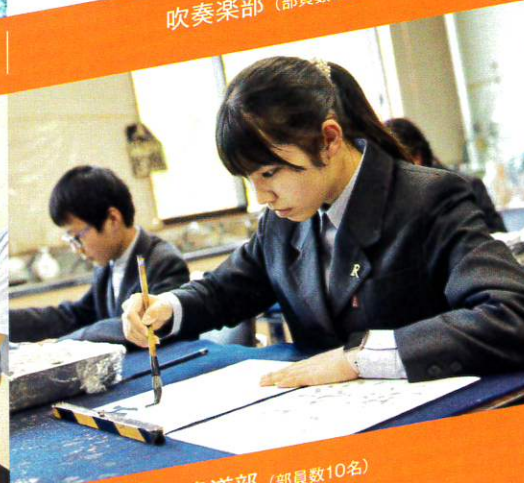
吹奏楽部 (部員数35名)



茶道部 (部員数20名)



自然科学部 (部員数46名)



書道部 (部員数10名)



美術部 (部員数16名)

※クラブ活動の運営形態は変更になる可能性があります

SAプログラム (スカラー・アスリート&アーティスト)

「好き」や「得意」を安心して伸ばせるように力強くサポート! スポーツ活動・文化芸能を頑張っている生徒を応援します。

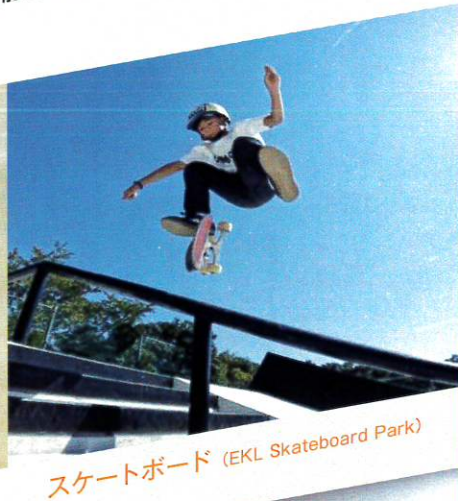
※SA生徒の活動種目は、原則本校部活動にないことが条件となっています。



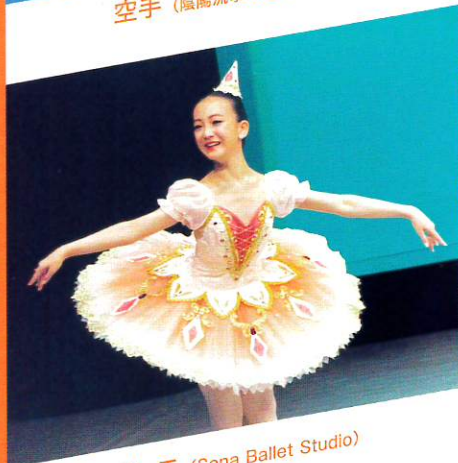
空手 (陰陽流拳法空手宗本部)



ゴルフ (フリー)



スケートボード (EKL Skateboard Park)



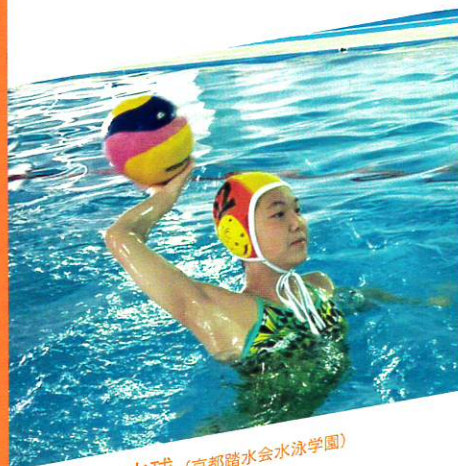
バレエ (Sena Ballet Studio)



水泳 (イトマンスイミングスクール)



日本舞踊 (宗家藤蔭流)



水球 (京都踏水会水泳学園)



ロードバイク (バイク ホンダ・レーシングスクール・鈴鹿)



女子軟式野球 (京都シャイニングヴィーナス)

個人活動種目

校内のクラブ活動やSAプログラム以外で活躍する生徒たち。

One Day

立宇治生の1日



登校



8:30

AM
授業



9:50

AM
授業



10:50

昼休み



12:40

PM
授業



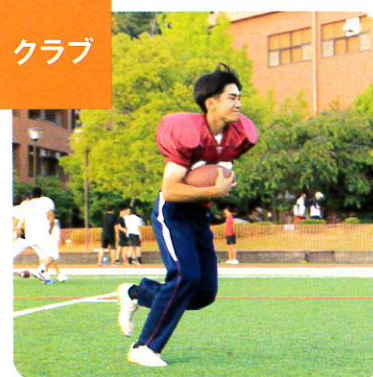
13:50

PM
授業



14:50

クラブ



16:00

下校



17:50



Uniform

制服紹介



冬服

赤いステッチや
ピスマークが
ついたブレザー

南 向日葵さん
elc International School 出身



田邊 瑛太さん
大阪市立開平小学校出身

チャコール
グレーの
ブレザー

夏服

チェック柄の
キュロット
スカート

稲見 理沙さん
京都市立桂坂小学校出身



中井 康暉さん
城陽市立久世小学校出身



ネイビーの
スラックス





TOK道徳

違いを楽しみ、
答えが1つではない問いを
楽しめる人になる

立命館宇治の道徳は、答えが一つではない問いと向き合い、議論を通して自分の考えを新たに構築することを大切にしています。人が持つ違いを違いとして理解し、異なる考え方の人にもそれぞれの正しさがあると認め合える関係を築くため、「考え議論する道徳」の授業を展開します。「優しさとは何か」を考える授業では、優しいと思って行動しても相手にとってはそうではない場合や、相手に求めている優しさは相手が思っている優しさではない可能性に気づくことで、自分の行動や言動を改めて考えるきっかけにします。時には3学年をシャッフルしてグループを作り、学年を超えて意見交流することで考えの幅をより広げていきます。

Theory of Knowledge
論理的思考力・批判的思考力
を身につけるために
正解が1つではない問いに挑戦できる人になる！

1. 自分の意見に根拠を持ち、一生懸命考える
2. 人の意見に耳を傾け、議論を深める
3. 意見を受け入れ、自分の考えと根拠を再構築する

Rule ケンカではない！
人の話を最後まで聞く！
人の意見をまず受けとめる！否定しない！
思考を深めるために必ず質問する！
議論を教室の外に持ち出さない！

I CAN I WILL. WE CAN WE WILL.

中3 研修旅行

大きく飛躍する2週間

中学3年の夏休みには、オーストラリアでの研修旅行が待っています。そこで2週間、ホームステイと現地校での生活を体験します。普通に考えれば、不安な気持ちの方が勝るプログラムかもしれません。しかし、実際に行く頃になると、中学3年生の表情はワクワク感で輝いてきます。そのわけは、本校中学生は、この2週間を精いっぱい楽しむために、入学以来いろいろな事にチャレンジし、強くなっていくからです。教員集団もここにひとつのゴールを置きながら日々、指導にあたる、中学3年間の学びの集大成の位置づけとなります。生徒たちの満足度の高い、そして完成度も高いプログラムです。



研修例

シンガポール

「最先端の技術と多文化共生の視点から、持続可能な未来を考える」をテーマとして実施しました。水資源確保の先端技術、ゴミ問題解消のためのハイテク焼却場などを見学し、今後の探究学習に生かすことができました。



研修例

ラオス

今回のキーワードは3K(構築・共創・継続)！ラオスの高校生との異文化交流、異文化体験を楽しみ、現地の教育支援を目的としたイベントに参加しました。海外での社会問題を肌身に感じ、次の活動につなげていくリーダーの育成となるプログラムです。



GCP グローバル・チャレンジ・プログラム

自ら人生を切り開き社会貢献できる人へ

GCP(海外派遣プログラム)とは、自ら人生を切り開き社会に貢献できる人材育成を目的として、国際会議・ワークショップ・ボランティア活動・スタディツアー等への参加などさまざまな国際交流の機会を幅広く本校中高生に提供するプログラムであり、多くの生徒に国際経験を積ませるプログラムです。

総合的な学習

体験を通して感性豊かな心の成長を

3年間の中でさまざまな体験と学びを通して、豊かな心の成長を育む総合学習は本校の特徴の一つです。例えば1年生では、多くの日本文化に触れます。2年生では、大工の棟梁を講師に椅子作りを通して木工の技術を学びます。3年生では「身体表現」の授業として演劇を学び、秋の学園祭(興風祭)でクラスの劇を披露します。



日本舞踊



和太鼓



書道



茶道



陶芸



木工



演劇



茶摘み

授業
ルポ

QUEST 「QUEST」が始まって7年目 進化し続けています

総合的な学習の時間を活用し、「QUEST」と名づけた探究の授業を行っています。1年生は「自分を知る」というテーマで、マインドマップを描いたり、自分のマニアックな事柄を紹介したり、その内容を新聞にまとめたりとさまざまな手法を用いて自分らしさを表現します。1年生の最後には、興味のあるものについてオリジナルの雑誌「ZINE」を作成し、プレゼンテーションを行います。

2年生では「社会とつながる」をテーマに課題研究を行います。各自が問いを設定し、仮説を立て、その仮説が正しいかどうかを実証するため、専門家へインタビューをしたり、研修会に参加したり、自ら実験をしたりとさまざまなアクションを起こします。

過去に最優秀賞を獲得した生徒は、「人間と動物は意思疎通ができるのか」という問いを設定し研究を進めました。動物園の方にインタビューをして分かったことなどを踏まえて、説得力のある結論を導きました。

3年生では「社会を変える」をテーマに、5～6人のグループで、実在する企業の疑似インターンを行います。各企業から与えられたミッションを達成するため、リサーチをしたり、実際に社員さんとミーティングをしたりして、オリジナルの提案を行います。2023年度は、探究発表の全国大会に出場し、優秀賞を獲得したチームが出ました。

この3年間の取り組みは高校での探究授業にもつながります。中高6年間で自らの探究心を深めていけるのも本校の特長です。



興風祭

立命館宇治の伝統行事
力が入る各種発表会



本校の文化祭である興風祭では、1年生は学年展示、2年生は創作ダンス、3年生は演劇を披露します。どの学年の展示もクラスや学年の個性が光り、見応え十分です。

特に3年生の演劇は1学期より専門の先生にご指導いただき、演技の基礎や表現方法などを学びます。興風祭が近づくころにはその学びの成果が十分に発揮され、劇団顔負けの演劇になります。そして最後の舞台が終わった時の達成感や充実感は格別です。

演劇やダンスに一生懸命に取り組む先輩の姿が後輩へと引き継がれ、立命館宇治中学校の歴史が作られていく瞬間がこの興風祭にはあります。

体育大会

体育大会は生徒を成長させる
この上ない行事です

本校の体育大会は6色の団に分かれ、1年生から3年生が縦割りでチームを組みます。赤、青、緑、黄、紫、桃、それぞれの団のハチマキを巻いた生徒たちが学年を越えて協力し、総合優勝をめざします。

そして最も盛り上がり、団結力がはかられるのが応援合戦です。応援団長を中心に一体となって応援する姿は見る者に感動を与えてくれます。

3年生を中心に練習を積み重ねていく中で、1、2年生は先輩の姿に憧れ、その思いは次の代へと引き継がれていきます。



合唱コンクール

クラスのハーモニーを響かせよう!

暑い夏が終わり、虫の声とともに秋の気配が漂い始めると、本校では校舎のあらゆるところから歌声が聴こえ始めます。それは毎年11月に行われる合唱コンクールに向けて準備が始まった証。朝から放課後まで生き活きた歌声が響き渡ります。クラス一丸となって自分たちの思いを届けたい。そのために歌詞の意味を考え、言葉の持つ力や美しさを感じ、どのように歌えば自分たちの合唱・音楽がよくなるのか学び、練習に励んで深めていきます。クラスで一緒に作り上げるからこそ、声を合わせて素敵なハーモニーを奏で、本番に向け大きく成長していきます。生徒たちの表情は真剣そのもの。その姿は聴いてくださる方にたくさんの感動を届けています。



WOWプログラム

本校は普段の授業の枠を飛び越え、「ホンモノに触れる体験」を大切にしています。学校で学んだ知識をつなぎ合わせて教室の外に飛び出して活用する場、それがWOWプログラムです。実体験を通して「WOW!」と驚き、楽しく学べる機会を数多く提供し、生徒のワクワクを育成します。「Zoomを使って世界中の人達と英語を通してつながる」「護身術を体験する」「英語で落語を体験する」「世界に一つの自分だけのオリジナルアクセサリを作る」など、さまざまなプログラムに参加して好奇心旺盛に学んだ分だけ、見える世界が広がります。WOWプログラムは生徒たちの希望やニーズに合わせて、日々新しいプログラムを生み出していきます。



【過去の実施例】

実施プログラムは年によって変わります。

- 知って得するお金の話
- チアダンス体験
- 祇園祭ちまき作り体験
- 水引きアクセサリを作ろう
- 琵琶湖でSDGsを学ぼう
- 鑑識のお仕事体験
- 虹色チョコレートを作ろう
- 手話を楽しもう
- 無電源ラジオを作ろう
- プロの小説家から学ぶ創作術
- 挑戦!ピワイチ
- プログラミングを学ぼう
- ベースボール5を体験しよう
- インドの染色技法ブロックプリント体験
- 造幣局を見学しよう
- 京船の製法を学ぶ
- 廃棄野菜からできた絵の具でクリスマス飾りを作ろう
- 夢と挑戦する勇気がふくらむ北海道理科研修
- そうぞう力と感性を磨く屋久島理科研修
- 大相撲を観覧し伝統・文化を学ぼう
- 本気の社会見学 中部地方のものづくりを学ぼう

WOWプログラムレポート

夢と挑戦する勇気がふくらむ

北海道理科研修

2024年3月に大人気WOWプログラム、『夢と挑戦する勇気がふくらむ北海道理科研修』を実施しました。前回の屋久島理科研修からのリピーター6名を含めた過去最多の41名が参加しました。

メインプログラムの1つ目は、植松電機にて代表取締役の植松努氏の講演、手作りロケット作成、打ち上げを行いました。2つ目は旭山動物園を訪れ、バックヤードツアーや行動展示などの解説をしてもらいました。その他にも、立命館慶祥中学校・高等学校見学とサイエンスショー、旭川市科学館と天体望遠鏡見学、休憩時間の雪合戦、北海道ならではの食事やお土産購入など、ボリュームのある特別な3日間を満喫しました。今回学んだ41名が、先輩たちが成し得たように、この機会をスタートとして夢と希望、挑戦に満ちた日々を過ごし、どんな未来をつかみとるのか楽しみです。



ACCESS MAP



バスで

- 京阪宇治駅から ……約20分
- JR新田駅から ……約10分
- JR宇治駅から ……約15分
- 近鉄大久保駅から ……約10分

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷33番1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

33-1 Hachikenyadani, Hirono-cho, Uji-city, Kyoto 611-0031 Japan
TEL:+81-774-41-3000 FAX:+81-774-41-3555

